令和７年度　　教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	5	学校名	加納高等学校

社会的役割等 (ｽｸｰﾙ･ﾐｯｼｮﾝ)		普通科、音楽科、美術科を設置し、自主自律した個性豊かな生徒の育成に取り組む高校として主体的に課題解決に取り組む学びや未来を創る知識や文化芸術を探究する学びを通して持続可能な社会の担い手として、豊かな感性と創造性を持った人材の育成を目指す学校
学校教育目標 （教育方針）		自主自律した個性豊かな生徒を育てる ・大志を実現するため、学問を尊ぶ気風を広め、高い学力を養う。 ・濃やかな感性と国際的な感覚を養うため、文化を尊重する校風を醸成する。 ・品性ある豊かな人間性を身に付けるため、高い道徳観及び倫理観を培う。
３つの方針 (ｽｸｰﾙ･ﾎﾟﾘｼｰ)	どんな生徒を育てたいか 【ＧＰ】	・大志を抱き、高い知性を兼ね備え、自らの理想（ゆめ）に向かって挑戦できる生徒 ・個性を認め、他者を尊重して協働することができる心豊かな生徒 ・持続可能な社会の創り手として、主体的に課題解決に取り組み、社会に貢献できる　生徒（普通科） ・音楽や美術の専門性を生かし、将来、芸術分野で活躍できる生徒（音楽科・美術科）
	生徒をどう育てるか 【ＣＰ】	・生徒一人一人の個性や長所を伸長するための教育課程の編成と個に応じた指導の徹底 ・ＩＣＴの活用や授業改善による学びの質の向上と主体的、対話的で深い学びの実現 ・自主性や仲間との協調性を育むため、生徒を主体とした学校行事や部活動の運営 ・探究的な学びによる主体的判断力、計画立案力、コミュニケーション力、課題解決力の育成（普通科） ・個性を尊重した少人数の専門教育による芸術的感性や創造的表現力の育成（音楽科・美術科）
	どんな生徒を待っているか 【ＡＰ】	・知的好奇心が旺盛で、自分の目標を目指して勉学に励むことができる生徒 ・自由な校風の中で、部活動や生徒会活動などに主体的に取り組むことができる生徒 ・音楽を専門的に学び、将来、演奏家や指導者などを目指している生徒（音楽科） ・美術を専門的に学び、将来、作家やデザイナーなどを目指している生徒（美術科）
学校の抱える課題		・自主自律した個性豊かな生徒を育てるため、３学科を有する本校の各学科のカリキュラムを見直し、魅力ある学校づくりを目指す必要がある。 ・生徒が自分の将来像を考え、その実現のために主体的に学習に取り組む力を身につける必要がある。 ・キャリア教育を推進し、学校での「学び」と自らの将来との接点を認識させ、教科等を学ぶ本質的な意義を明確にする必要がある。 ・学校生活にふさわしい身だしなみや時間（期限）を厳守する等、基本的な生活習慣の確立と挨拶やマナー等の社会性を高める必要がある。 ・多様化する生徒へ対応するため、生徒理解に努め、相談スキルを向上させる必要がある。
教育指導の重点	領域・分野	今　年　度　の　具　体　的　な　重　点　目　標
	学校経営	学びの機会の保証、多様な学習ニーズへの対応の視点から、魅力ある学校づくりを推進します。
	学習指導	個に応じた指導を通して､主体的な学習態度を育成するとともに､主体的･対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組みます。
	進路指導	確かな学力を身に付けさせるとともに、大志を抱き主体的に進路選択できるよう３年間を通してキャリア教育の充実を図ります。
	生徒指導	基本的生活習慣の確立とモラル・マナーの定着に努めるとともに教育相談活動の充実を図ります。

年　度　目　標				年　度　末　評　価（自　己　評　価）			
領域 分野	３つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な具体的取組・方策	県教育振興基本計画での位置付け	達成度の判断・判断基準あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A.B.C.D	成果と課題	総合評価 A.B.C.D
学校経営	魅力ある高校を目指したカリキュラムの検討	施策Ⅳ-20	・生徒、保護者アンケート （学校生活の満足度80%）				
	教職員の学び合い文化の醸成・協働的な職場づくりのための支援	施策Ⅳ-26					
	オンライン学習等を含む学習支援体制の整備	施策Ⅳ-23					
	自主性や協調性を育む行事や活動の実施	施策Ⅰ-1					
学習指導	教科横断的で探究的な学びと課題解決能力の育成を目指したの探究活動（GLI事業）　の充実	施策Ⅰ-4	・GLI発表（アンケート）				
	個の能力に応じた学習指導と主体的に学習に取り組む姿勢の育成	施策Ⅱ-8	・生徒アンケート (授業に対する満足度80%)				
	ICTを活用した授業スタイルの研究	施策Ⅱ-9	・生徒アンケート （ICT活用80%）				
	読書活動の励行	施策Ⅱ-8	・生徒貸出冊数平均4.5冊				
進路指導	大学系統別説明会や模擬授業、進路探究学習などのキャリア教育の充実、生徒の将来像の早期明確化	施策Ⅱ-13	・生徒アンケート (満足度80%)				
	高い目標に挑戦するための確かな学力の育成	施策Ⅱ-8	・志望上位国公立４大学現役合格者(80名)				
	解説講義や講演会の活用、上位層の拡大	施策Ⅱ-8	・ハイレベル模試に挑戦する生徒の定着(40%)				
	保護者進路研修会の実施、保護者の方々との進路に関する意識・情報共有	施策Ⅱ-13	・保護者アンケート (進路情報提供満足度80%)				
生徒指導	MSリーダーズやPTAと連携した交通安全運動	施策Ⅰ-7	・生徒、保護者アンケート （満足度80%）				
	登校時の声掛け等、PTAと連携した遅刻防止指導	施策Ⅰ-7					
	スクールカウンセラー等、外部の専門家を活用した教育相談の充実	施策Ⅰ-3					
	職員研修会（教育相談、いじめ対応、発達障害等に関するもの）の実施と組織体制の強化	施策Ⅰ-3					

来年度に向けての改善方策等　　実施日：令和８年　月　　日

学校関係者評価　　実施日：令和８年　月　　日